

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	生産局生産流通振興課（園芸部門）	連絡先	03-6744-2113
所管する業務の概要	野菜農業、果樹農業、花き産業に係る政策の企画、立案 野菜、果樹、花きの生産振興 野菜、果樹の需給調整、価格安定に係る制度運営等 野菜、果実の流通、加工の改善、消費の増進、輸出促進等		

1. 基本的な心構え・行動			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
農林水産省への来訪者や問い合わせへの対応は、その内容や自らの立場に関わらず、農林水産省全体へのイメージにつながるなどの考えのもと、丁寧・誠実・親切的な対応がなされるよう常に意識して行動している。具体的には、接遇マニュアルを参考に、電話に出るときは名前を名乗り、来省者については丁寧に対応している。 また、課員の業務分担を明確にしていることから、個々の課員が明確に責任範囲を認識。		対応への批判等はないため、意識共有が効果を生んでいると考えられる。継続こそが肝要であるため、今後も努めていく必要がある。 一方、個々の抱える業務が多く、他の業務への理解は必ずしも万全とは言えない。 したがって、政策外交員として説明する能力が向上しているとは必ずしも言えない状況なので、定期的に政策外交員のホームページ等を確認するよう努力。 また、部門内では、担当業務以外の業務についても理解を深めるよう、少なくとも1週間に1度打合せを行い情報の共有に努める。	
野菜の緊急需給調整の実施に関し、消費者、マスコミ等から産地廃棄の実施について、「もったいない」との批判があったことから、有識者を集めた協議会を開催し、その提言にもとづいて、対象野菜を出来るだけ廃棄しない有効活用に努めている。また、夏野菜の消費拡大の「夏ベジプロジェクト」、秋冬野菜の消費拡大の「鍋ほかプロジェクト」を立ち上げている。		消費者等からの意見に適切に対応したものとして、一定の評価を受けている。 今後も消費者等からの意見を踏まえ適切に対応するよう努力する。	

国民の関心が高まっている「植物工場」などへの政策対応状況について、HPによる情報提供の充実に努めるとともに、個別の生産者、事業者等からの電話照会や担当者への面会要望にも積極的に対応している。	問合せ者の職種等の巾が広いことから、わかりやすい資料等を作成し対応している。 今後も、多様な問合せ者に理解を深めてもらうために、わかりやすい情報提供を実施していく。
野菜、果実の輸出入については、一般の方、マスコミ関係者から情報提供を求められることが多いため、迅速に対応できるようデータを整理している。 また、国内で生産量の少ない野菜や果実についても問い合わせがあることから、これらについても情報を整理。 さらに、当方でその場で対応しきれない案件については、文献を調べたり、専門家に聞いたりして、後日、問い合わせ者に連絡している。	直近のデータに更新されていない場面があったことから、随時最新の情報に更新するよう努力。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
検討している政策について関係者と意見交換を行い、現場の目線から、その目的、手法や効果について検討。	想定していた課題と現場における課題に違いがあったことを認識。今後、政策を立案するにあたっては積極的に現場関係者の意見を聴取するよう努力。
園芸部門の業務においては、当省以外の政府機関である厚生労働省、経済産業省や省内の国際部、消費・安全局等の他局庁、独立行政法人、在外公館等関連部局が多岐にわたるため、積極的に足を運んでface to faceで信頼関係を築きつつ、メール等の活用し、効率的に業務を執行。 また、園芸部門内では、窓口担当者は作業依頼をメールだけで済ますことなく、案件によっては担当者のところに説明に行く等、認識の齟齬無く、迅速且つ効率的に業務が遂行されるよう行動。	関係部局等が多いため、情報提供が遅れたり、説明が不十分であった部分も否めないことから、情報提供を迅速に実施するとともに、十分な説明ができるよう、関係者に一斉にメールを送る等の工夫が必要。 その際、メール宛先の定期的な更新を行うことも忘れずに実施。
補正予算の事業について、「すごろく型式」等、わかりや	説明会の際に、迅速かつ的確、聞き手にとってより理解

すいパンフレットを作成。農政局、都道府県経由で農業者、養蜂家等関係者に情報提供するとともに、JA に送付する等、直接的な情報提供を実施。 また、地方農政局と連携し本省からも担当者が全国各地に赴いて、農業者等関係者に事業の内容を直接説明。	してもらうために、パンフレットに基づく説明だけでなく、関係者が疑問を抱くような点について事前に前広に想定し、一問一答集を作成した上で臨む等、聞き手の理解がより一層進むよう努力。
花き産業振興室にて行った花き産業方針検討会にて協議した内容に関して業界関係者だけではなく一般消費者まで含めた幅広いパブリックコメントを募集するため、各地での説明会、インターネットでの募集など周知を行った。	募集期間を延ばしたこと、幅広く意見を求めたことなどから、数多くの多岐にわたる意見が寄せられた。これらをより効率的に取りまとめる方法等について検討が必要。

3. リスク管理			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
初期段階における情報の誤った取扱いが、事態の悪化につながるとの考えのもと、常に報告・連絡・相談を心がけている。		業務における大きな問題は生じていないが、引き続き行動に遺漏、遅延がないように注意が必要。	
今春の花粉交配用みつばち不足問題を踏まえ、対策等について有識者等から幅広く意見を求めており、その中で今夏の天候不順のため、ミツバチの増殖が芳しくなく、今秋は大丈夫であろうが、年明けには花粉交配用ミツバチの供給に懸念があるとの意見があったことから、関係者で問題意識を共有し、所要の対策を前倒しで講じているところ。		有識者会議に限らず、あらゆる情報収集手段を駆使してリスクに関する情報を前倒しで収集し、対策についても前倒しで講ずるよう努力。	
今夏の天候不順のため、一時期、野菜の流通量が不足気味になったが、主産地からの事前の情報収集、当該情報の分析に基づく前倒出荷の要請、国民への情報提供等により、野菜の安定供給対策を講じた。		今後も、事前の情報収集、当該情報の分析に基づく対応、国民への情報提供等を迅速かつ的確に実施するよう努力。	

4. 食の安全に関する取組

・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
農産物の生産・流通・加工・消費に関わる業務は、全て消費者に対して安全な食料を供給するためのものであり、野菜や果樹が安全に供給されるように、関係業界等に対し、随時情報提供等を実施している。また、主要品目についてGAPマニュアルを作成し、農薬・肥料の適正使用を推進するとともにトレーサビリティの導入を推進している。	農産物の生産・流通・加工工程における安全性確保に関する情報を関係者で共有することにより一層努め、問題が発見された場合には、直ちに消費・安全局と連携し対応できるよう体制を整備している。
例えば、果実・野菜の輸出関連の業務で残留農薬の案件があることから、食の安全に関わる残留農薬基準について、我が国のみならず、他国の状況や仕組みについても情報収集を行うとともに、関係者に広く情報提供。	専門的な内容が多く含まれるため、難しい内容であることが多いことから、食品安全研修等の資料に繰り返し目を通す等により、理解の増進に努める。

5. その他の重要な取組	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
園芸部門内においても言葉遣いや態度に気をつけ、ざっくばらんに意見交換、相談ができる雰囲気作りを心がけている。	忙しさのあまり、大事な相談等を後回しにしたり、語気が強くなったり、言葉には出さないまでも「忙しいから来るな!」という雰囲気を醸し出している場合もあることから、業務遂行の緊張感は保ちつつもざっくばらんに意見交換や相談ができる雰囲気を作るよう努力。